



# I SUPPORT

公益財団法人  
風に立つライオン基金  
THE LION STANDS AGAINST THE WIND FUND FOUNDATION SINCE 2011



## ECO★アライ

16インチ折りたたみ電動アシスト自転車  
ツバメ・イータイム

TBM-Q1

## 取扱説明書



仕様変更などによりイラストや内容が一部実車と異なる場合があります。

- この度はお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- この商品を正しく安全に使用していただくために、お使いになる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管し、必要なお読みください。

**I SUPPORT**

公益財団法人

**風に立つライオン基金**

THE LION STANDING AGAINST THE WIND FUND FOUNDATION SINCE 2015



## 風に立つライオン基金 オリジナルモデル

売上金の一部は「公益財団法人 風に立つライオン基金」に寄付されます。

# 目次

はじめに	2
安全上の注意	3-5
各部名称	6-7
組立手順	8-10
折畳み・組立方法	11
LCDパネル操作方法	12
充電方法	13
バッテリーについて	14-15
故障かな？と思ったら	16
点検・整備項目	17
一充電当たりの走行距離	18
スペック	19
販売証明書	20

●製品の仕様変更などにより、本書に記載のイラストや内容が実際の製品と多少異なる場合があります。

●この取扱説明書の記載内容については、予告なしに変更することがあります。

●本製品を贈呈や貸与する場合は、本書及び購入時に添付されていた書類一式を必ず製品に添付してください。

# はじめに

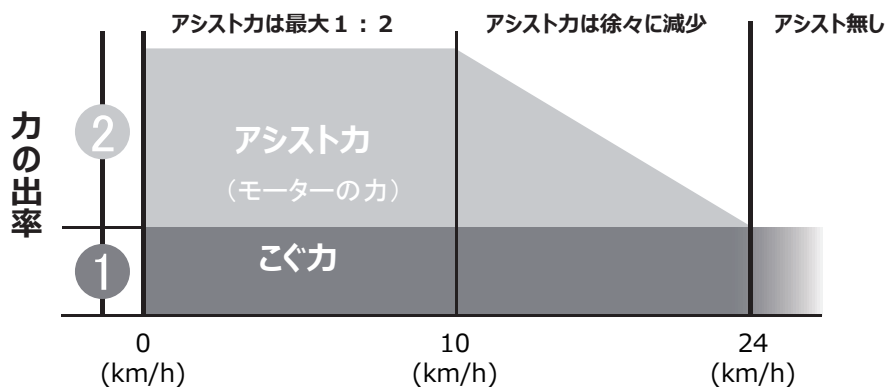
この電動アシスト自転車取扱説明書では、TBM-Q1電動アシストユニットの取扱い方法を説明しています。

この取扱説明書をよく読み、内容を理解したうえで正しくご使用ください。自転車のご利用にあたっては同梱の取扱説明書（保証書）を必ずお読みください。

電動アシスト自転車取扱説明書／取扱説明書（保証書）はお読みになった後も大切に保管してください。

## モーターの力（アシスト力）で、ラクラク走行

ペダルを一定以上の力で踏むとアシスト力が働くので普通の自転車よりも軽く踏むだけで走行することができます。



- ①アシスト力が働くスピードの範囲はアシストモードにより異なります。
- ②楽になる度合いはペダルを踏む力や人、道路状態、天候、積載等の条件により異なります。
- ③以下の状況ではアシスト力が働きません。
  - ・電池残量がなくなっている
  - ・電源スイッチが切れている
  - ・ペダルを漕いでいない
  - ・24km以上の速度で走行している
  - ・走行できない故障や異常が発生している
- ④アシスト力がない状態でも、普通の自転車としての走行は可能です。

# 安全上のご注意



## バッテリー／充電アダプター／コード・プラグについて

1. 充電する際は自転車のアシスト電源のスイッチを切ってください。
  2. 充電中は充電器の上に物を置かないでください。
  3. 残量の少ない時は早めに充電を行ってください。
  4. **充電完了後(緑色点灯)はAC電源プラグを抜いてから、バッテリー側のプラグを抜いてください。**
  5. 充電器は必ず付属の専用充電器をご使用ください。  
(他の充電器を使用するとバッテリー破損の要因となり危険です。)
  6. バッテリーのケース、充電アダプター、コード・プラグが破損したものは使用しないでください。
  7. 電動アシスト自転車をご使用になられた直後は、すぐに充電しないでください。  
(バッテリー本体が発熱している状態で充電されますとバッテリーの寿命を減らすだけでなく、膨張発火の原因となります。)(ご使用後すぐに充電するのではなく、バッテリーを30分以上放置し、冷却を行ったあとに充電する事をおすすめします。)
  8. 充電器に衝撃を与えるような落下、水濡れ、高温多湿な場所での保管を避けてください。
  9. 保管場所は5℃から35℃内で、塵やほこりが少なく、雨つゆや直射日光の当たらない箇所での保管してください。
  10. 幼児など取扱に不慣れな方だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところでは使用しないでください。
  11. 電源プラグや充電プラグを濡れた手で触れないでください。
  12. 充電口には金属物が触れないようご注意ください。
  13. 電源プラグのほこりや油等は定期的に取り除いてください。
  14. バッテリーは重量がありますので、お取り扱いにご注意ください。
  15. バッテリーの充電は(平均)約4時間となります。  
(充電が完了しない、バッテリーが過度に発熱するなどの異常※ がみられましたら、すぐに充電器をコンセントから外して販売店にお問い合わせください。)
- ※充電時は若干熱を帯びます。**
16. 充電中はバッテリーやアダプターに皮膚が長時間触れないようにしてください。
  17. 極度に暑い、または寒い環境ではバッテリー性能が低下します。  
(特に冬期では、バッテリーの性能が低下し、走行距離が大幅に短くなる場合があります。)
  18. 30日以上使用しない場合は一度完全に充電し、別途保管してください。
  19. バッテリーは使用していなくても、少しずつ自然放電しますので、2ヵ月程度ごとに完全に充電してください。バッテリーの故障に繋がります。

# 安全上のご注意



電池自体が過放電してしまうとバッテリーが損傷する恐れがあります。この場合保証対象外となります。

20. 満充電のバッテリーを繰り返し充電するとバッテリーの劣化が早くなります。
21. バッテリーを火中に入れたり、高所から落としたりしないでください。
22. 端子部を手で直接に触れたり、金属片等が接触しないようにしてください。
23. バッテリーの分解、水に浸したり、電池をショートさせないようご注意ください。

これらの損傷は保証対象外となります。

24. お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコール、研磨剤等は使用しないでください。
25. バッテリーはお子様の手の届かないところに保管してください。
26. バッテリーは資源有効利用促進法に基づきリサイクルが義務付けられています。

バッテリーを廃棄する際は、各自治体にご確認いただき指示に従ってください。

**万一、バッテリーから液が漏れた場合、以下の注意事項をお守りください。**

- 皮膚や衣服につけないように注意する。
- 目に入った場合は直ちにきれいな水で洗い流し、医師の診断を受ける。
- 皮膚についた場合は直ちにきれいな水で洗い流し、医師の診断を受ける。

## アシスト自転車について

1. 安全のため、ヘルメットを着用してください。

また車輪に巻き込まれる可能性のある服装や、滑りやすい靴、かかとの高い靴などはさけてください。

2. アシストスイッチを入れたまま駐車、自転車の押し歩きをしないようご注意ください。
3. 乗車前には各部の点検を必ず行ってください。

バッテリーが確実に固定されている事を確認のうえご乗車ください。

4. 「蹴り乗り(けんけん乗り)」は絶対にしないでください。必ずサドルにまたがりハンドルをしっかり握ってから発進してください。
5. 自転車を乗り入れても良い公園や広場など安全場所でよく練習し、アシストの特徴に充分慣れてから一般道路でお乗りください。
6. 発進時はペダルを強く踏み込みすぎないようにご注意ください。(思わぬ急発進によりバランスを崩すと危険です。)

7. 停車中は前後ブレーキをかけたままにし、ペダルに足を乗せないでください。

8. 前ブレーキだけを強くかけないようご注意ください。

(車輪がロックし自転車が前方に倒れる恐れがあります。)

# 安全上のご注意



9. 急ブレーキ、急ハンドルはしないでください。雨天時や下り坂ではスピードをださないでください。
  10. 深さ15cmを超えた水には入らないでください。
  11. 走行直後はアシストユニットに手を触れないでください。(走行直後はアシスト部が高温になっていることがあります。)
  12. 水に濡れた手でバッテリーや充電器には触れないでください。
  13. 2人乗りはしないでください。ハブステップを取り付けての乗車は大変危険です。また二人乗りでご使用された形跡がみられる場合は保証対象外となりますのでご注意ください。
  14. 傘をさしての走行、イヤフォンを聞きながらの走行、片手運転や手放し運転はしないでください。
  15. 飲酒時やかぜ薬を服用したとき、体調のすぐれないときは乗らないでください。
  16. 定期的に消耗部品(ブレーキ等)を交換してください。
  17. 交通ルールを守り並列運転や乱暴な運転はしないようご注意ください。
  18. 高齢者のかたの事故が増えています。
- 商品のアシスト特性、重量等を十分に把握したうえでご使用ください。

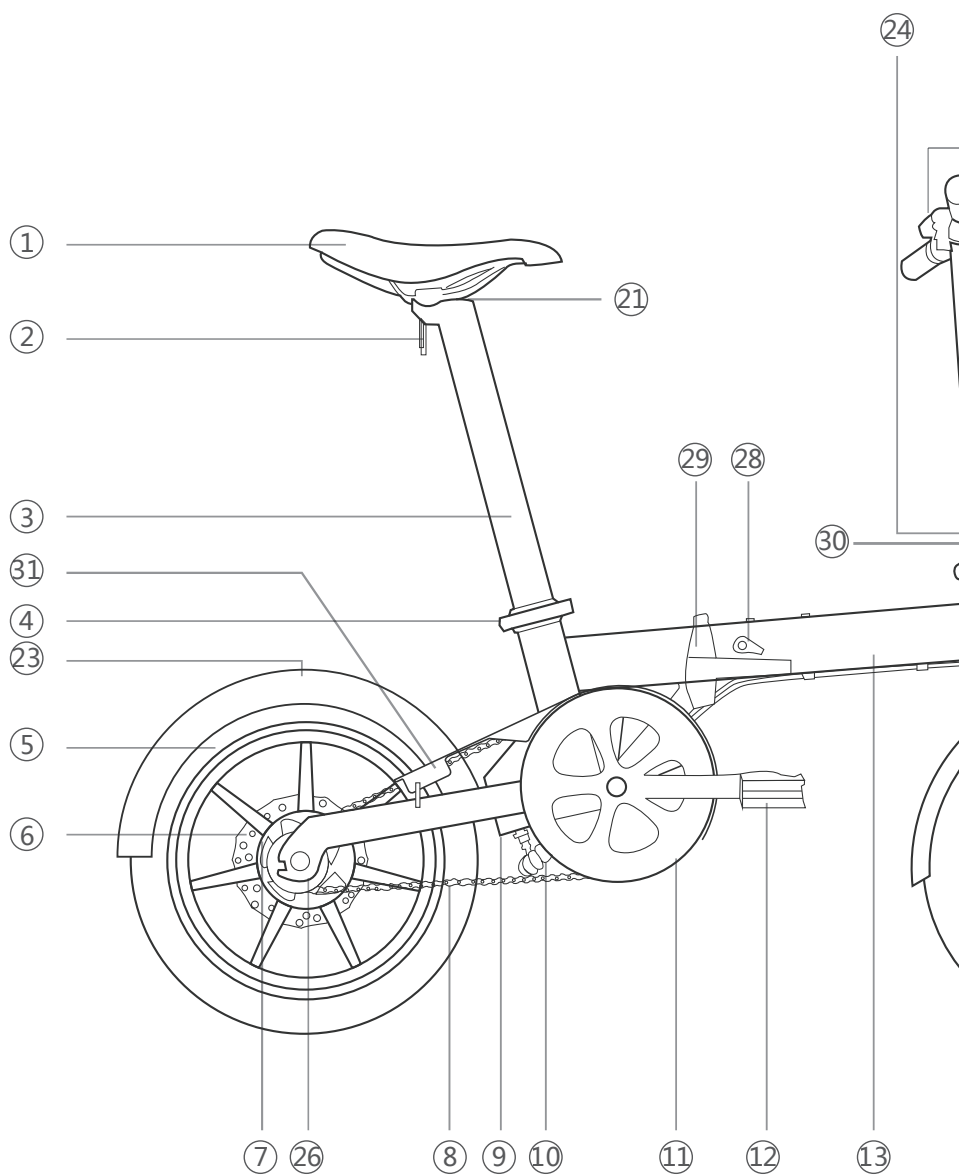
## メンテナンスについて

1. 自転車を高温多湿な環境に保管しないでください。
2. 自転車は直射日光と雨の当たらない場所で保管してください。
3. 各部の固定がしっかりしている事を確認してからお乗りください。
4. ねじ、チェーン及び他の部品を定期的に確認してください。
5. ハンドルやシートポストの限界線にご注意ください。限界線を超えた状態での乗車は大変危険です。
6. 定期的にタイヤに空気を入れてください。  
(空気圧が減った状態で走行すると、タイヤ、チューブの劣化、バッテリー消耗の原因となります。)
7. バッテリーや充電器を他の電気機器には使用しないでください。
8. いつまでも安全にお乗りいただくため、お買い求めいただいてから6ヶ月目以降は、半年ごとに定期点検をお受けください。(定期点検は有料となります。)

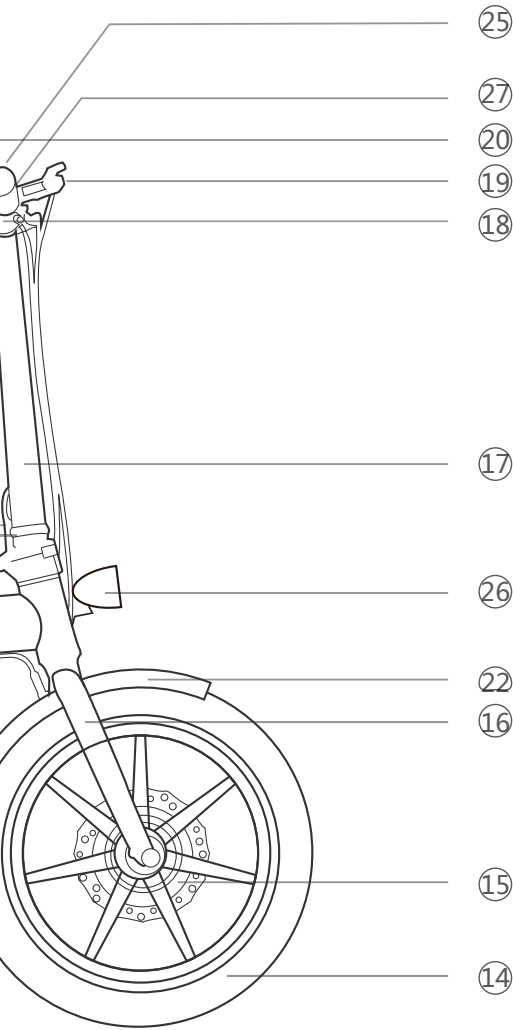
## 他の注意事項について

1. お子様はお使いにならないでください。本製品は大人用自転車となります。
2. 本書と保証書は紛失しないよう大切に保管し、ご活用ください。
3. 他人にお譲りになる場合は、本書と保証書も一緒にお渡しください。

# 各部名称







- ① サドル
- ② リアリフレクター
- ③ シートポスト(バッテリー内蔵)
- ④ シートピン
- ⑤ リア輪
- ⑥ リアディスクブレーキ
- ⑦ モーター
- ⑧ チェーン
- ⑨ コントロールボックス
- ⑩ バッテリーコード
- ⑪ クランク
- ⑫ ペダル
- ⑬ フレーム(折畳み式)
- ⑭ フロント輪
- ⑮ フロントディスクブレーキ
- ⑯ フロントフォーク
- ⑰ ステム(折畳み式)
- ⑱ ハンドルバー
- ⑲ ブレーキレバー
- ⑳ LCDパネル(コントロールパネル)
- ㉑ 充電口
- ㉒ フロントフェンダー
- ㉓ リアフェンダー
- ㉔ ハンドルステム用固定レバー
- ㉕ フロントリフレクター
- ㉖ ライト
- ㉗ ベル
- ㉘ 安全ロック
- ㉙ フレーム折畳みレバー
- ㉚ ハンドル安全ロック
- ㉛ チェーンカバー

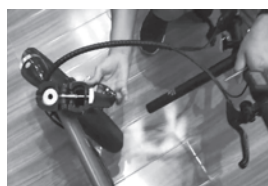
## 組立手順

商品を箱から取り出し梱包材を外してください。

(保証対応や修理の際に箱は必要となりますので、すぐに箱や梱包材を処分しないようご注意ください。)

### ハンドル部の組み立て

ハンドルは折畳まれ、はずれた状態で梱包されています。



①ハンドル高さ固定レバーを解除します。



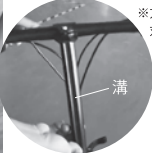
⑤ハンドルを立てたら、ハンドル固定レバーでしっかりと固定してください。

※ハンドル安全フックをスライドさせて、レバーがはずれないようにしてください。



②抜けている縦パイプ部分を差し込んでください。

※方向に注意してください。進行方向に対しLCDパネル左側となります。差込の際には、縦パイプの溝を合わせてください



③高さ固定レバーを閉じて固定してください。



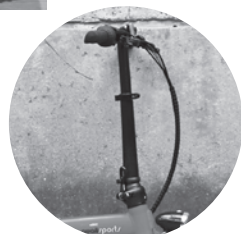
⑥改めてハンドルの高さの問題が無いかを確認し、(この際、ハンドル縦パイプ部の安全ラインは必ず隠れている事をチェックしてください。安全ラインが見えている状態は大変危険です。安全ラインが隠れる位置までしっかりと差し込んでください。)



④ワイヤーが絡んでいない事確認した上で慎重にハンドルを立てます。



⑦乗車されるときは、毎回、各部がしっかりと固定されている事をご確認ください。固定が弱い時は必ずレバーをチェックし、しっかりと固定しなおしてください。



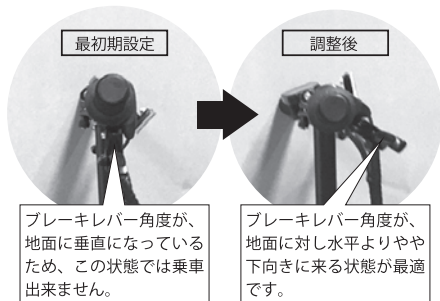
注意

必ず各部の固定がしっかりとしまっておく事をご確認ください。  
固定不足で、乗車時に固定部が動くと大変危険です。

## 組立手順

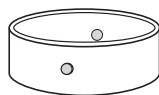
### ハンドルバー 角度

最初期の設定では、小さく折り畳むためにハンドルバーの固定角度を変えてあるため、調整が必要です。



### シートポストハンガーの取付

本製品は、シートポスト底部に電源コードがありますので、シートポストハンガーを付属パーツとして同梱しております。このパーツをシートポストに固定する事により、シートポストが地面に直接接触する事を防ぐ事が出来ます。



①シートポストを引き抜く前に、電源コードのソケットを緩めて下さい。(P 参照)

ソケットを緩めて、コードをはずさないとシートポストを取る事は出来ません。



②コードをはずしたら、シートクランプを緩め、シートポストを引き上げます。



③シートポストハンガーの芋ネジを緩めて下さい。(6角レンチを使用します。2か所ありますので、2か所とも緩めて下さい。)



④シートポストを完全に抜いた後、最底部をよりコードを通して、シートポストハンガーをシートポストにはめ込んでください。

※この時、芋ネジが緩んでいる事を確認してください。芋ネジが出ていると、シートポストを傷付けるおそれがあります。



再びシートポストを自転車に戻し、固定位置を調整してください。



目安としては、この位の位置となります。



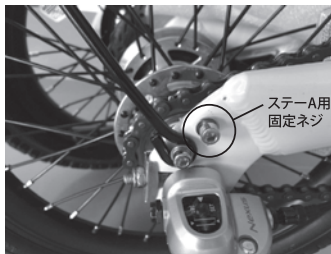
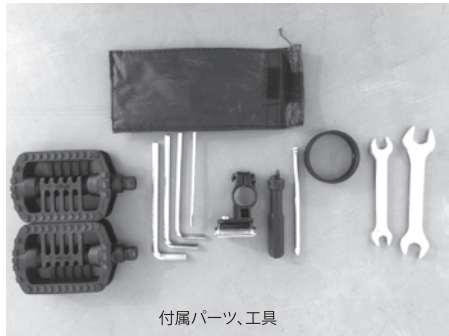
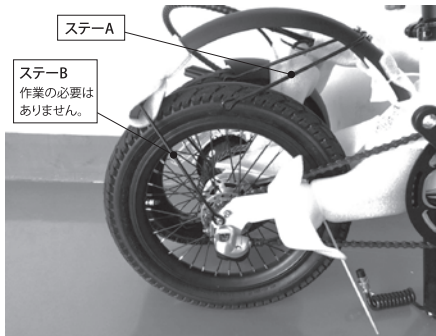
シートポストが地面に当たらない位置に固定してください。

## 組立手順

【リアフェンダーを組立していない場合で以下の手順で組立いただくようにお願いします。】

### リアフェンダーの固定

後フェンダーは2本のステーで固定されるものとなります。  
箱から出した状態の際はステーAの固定作業が必要です。



①ステーA用固定ネジを付属レンチ  
で緩めて一旦取外し

②ステーAを間に挟みこんでから再び  
ネジを締めこんでください。

(ステーBは既に取り付けられておりますので、  
参考としてご確認ください。)

③この状態が正常な取付を終えた状態となります。

<注意>

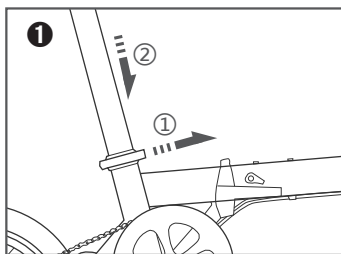
フレーム自体にネジが切られておりますので、  
取外し、取付の時は、必ずネジに対して垂直に力をかけて  
ネジ山を破損させないようにご注意ください。

乗車時にはステーA、Bともにネジがゆるんでいないかを  
チェックしてください。緩んでいる時は必ず増し締めを行い、  
しっかり固定されている事を確認してからご使用ください。



# 折り畳み・組立方法

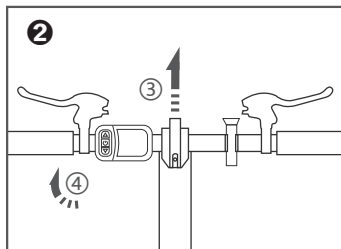
- \* ①～④は折り畳み順番、④～①は組立順番です。  
(手順に従って正しく折り畳み、組立してください。)



## シートポストの固定

- ①シートピンのレバーを解除し、
- ②シートポストをゆっくりと下げてください。

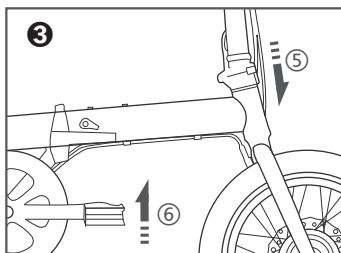
シートポストを一番下まで下げられたことを確認できましたらシートピンのレバーを開けてシートポストを固定してください。



## ハンドルの固定

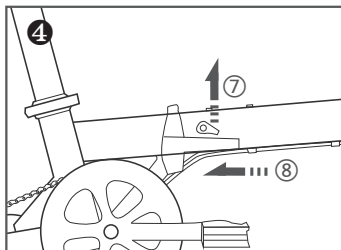
- ③ハンドルバー固定クランプを解除します。
- ④ブレーキレバーが地面に対して垂直になるまでハンドルバーを回して、ハンドルバーの角度を変えてください。

ハンドルバーの角度を確認してきましたら、ハンドルバー固定クランプを閉じてバーを固定してください。



## ハンドルシステムの固定解除 ペダルの位置

- ⑤ハンドルシステム用固定レバーを解除し、ハンドルシステムを倒してください。  
(レバーの反対側へ倒れます。)
- ⑥ペダルの位置を左図の位置にしてください  
(フレームを折畳む時に当たらないようにするためです。)



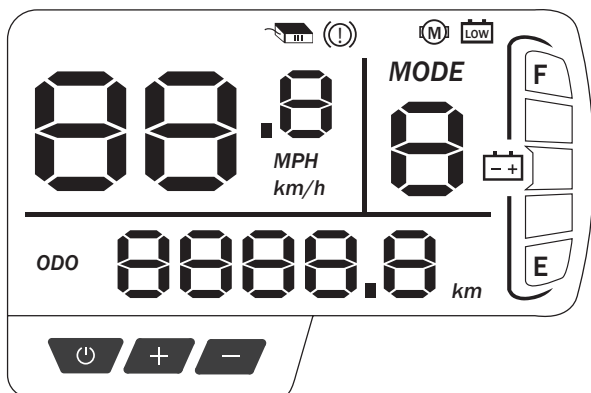
## フレームの固定解除

- ⑦安全ロックを上まわして解除してください。
- ⑧フレーム折畳みレバーを手前に引いて固定を解除してください。

レバーを解除すると、レバーの反対側へフレームを折り畳む事が可能になります。

注意：組立・折り畳みの時には指を挟んだりしないように注意して作業してください。

# LCDパネル操作方法



## ① 電源スイッチ

- 一回押し ⇒ 4秒押すと、電源が起動します。ODO:積算距離の表示
- 二回押し ⇒ TRIP:区間距離の表示
- 三回押し ⇒ VOL:電池電圧の表示
- 四回押し ⇒ TI:起動時間の表示



## ② +スイッチ (アシストする力が強くなります)



## ③ -スイッチ (アシストする力が弱くなります)



## ④ 速度表示

MODE



- ## ⑤ アシストモード
- 数字が大きいかほどアシストの力が強い状態となります。  
(アシストが強いほどバッテリーの減りははやくなります。)



## ⑥ 電圧表示

バッテリー残量表示 (少ないときは充電してください。)

ODO

## ⑦ ODO: 積算距離

(製造されてから現在までの総走行距離)※リセット出来ません。

## ⑧ 各エラー表示



コントロールボックス 故障

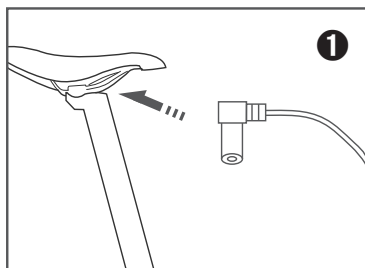


電子ブレーキ 故障



モーター故障

# 充電方法

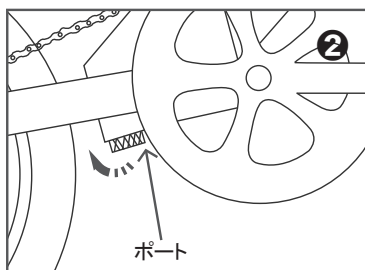


## 1. 充電口はサドルの底面にあります。

※ゴムカバーで覆われています。

ゴムカバーを開けて、充電器の「充電コード」を充電口に差し込みます。

充電完了後は、充電口にゴムカバーを被せてください。



## 2. バッテリーを車体から取り外して充電する場合

シートポストの底面部に

バッテリーとモーターを繋いでいるバッテリーコードがあります。

このバッテリーコードをポートからはずしてください。  
(ソケットを左回して緩めます。)

※コードが繋がったままシートポスト  
(バッテリー)を抜く事は出来ません。

シートピンを緩め、

車体からシートポストを引き抜き

①の手順に従って充電を行ってください。

※シートポストを引き抜く際には、

バッテリーコードを傷めないようご注意ください。

充電中はインジケータが赤色で表示されます。  
インジケータが緑色に変われば基本的な充電は完了となりますが、緑色に変わった後も満充電にするためにしばらく充電が続きます。  
(過充電を防ぐために、満充電になると充電は停止します。)

## 適切な充電環境

極度に暑い、また寒い場所では充電できない恐れがあります。

### ①温度は20℃～25℃の室内が望ましい

充電待ちになったバッテリーが充電できる温度に下がらないうまで、室内の温度が高いほど時間を要することがあります。

正常に充電を開始しても、充電途中でバッテリー内部が規定の温度を超えたとき、バッテリー保護のため充電に時間がかかる事があります。

### ②直射日光の当たらないところ

### ③平坦で安定なところ

### ④雨や水に濡れないところ

### ⑤風通しがよい、湿気がないところ

### ⑥幼児やペットが触らないところ

# バッテリー



**注意**

1回の充電でアシスト走行できる距離は道路の状態、走り方、気温、荷物の有無などの走行状況に左右されます。

冷えた状態ですと、走行距離が大幅に減少します。

発進、停止の回数が多い。急な坂道が多い。路面状況が悪い。積載重量が重い。向かい風が強い。バッテリーが劣化している。

上記のような条件により走行状態は変化します。

気温が5度以下になるような野外に電動自転車を駐輪する場合、

バッテリーは取り外して室内で保管してください。

走行直後のバッテリーは温度が上がっています。走行直後はアシストユニットに手を触れないでください。

走行直後の充電は、高温状態からバッテリーを保護するため、充電を途中で終了する仕組みになっています。

冬でも夏でも、常温(20℃~25℃)の環境で充電・保管されることをお勧めします。

走行中に異音が発生したり異常だと思ったら、ただちに使用を中止してください。

必ず平らな場所に駐輪してください。

高齢者のかたの事故が増えています。本製品のアシスト特性、重量等を十分に把握したうえでご使用ください。



**注意** バッテリーには  
寿命があります。

## バッテリー交換の目安

### ■バッテリー交換は有料です。

バッテリーの交換時期の目安は、使用状況・充電のしかたなどにより異なりますが満充電後の走行距離が新品時より、著しく短く(約半部以下)になった時が交換時期です。

### ■バッテリー交換時期の目安

バッテリー交換時期の目安は、約500回の充電／放電で使用期間はおよそ1年半前後が目安です。

ご使用や保管の状況等により、500回未満の場合でも寿命(新品時の約半分以下)になる場合もあります。

A)冬季はバッテリーの特性上、走行できる距離が短くなります。また、ペダルを強く踏み込んだ状態で走行する機会が多かったり、高温になる



## ⚠ 注意

駐車場でバッテリーを保管すると通常より少ない充電回数や短い期間でバッテリーが消耗し、寿命となる場合があります。

B)バッテリーの劣化を抑えるため、最低2か月に一度は充電を行ってください。

C)バッテリー残量がない状態での長期保管は、早期劣化の原因となります。

D)バッテリー残量表示ボタンを押した時にLCDランプが点灯しない場合は充電をしてください。再充電ができない場合はバッテリーが劣化し寿命となる可能性があります。

E)長期間保管後に再使用する場合、予めバッテリー残量を確認し、不足している場合は必ず充電してからご使用ください。

## リチウムイオン電池のリサイクルについて



Li-ion 10

- この商品にはリチウムイオン電池を使用しています。

リチウムイオン電池またはこの商品を廃棄する場合はリチウムイオン電池を取り外して販売店または、リサイクル協力店へお持ちください。

環境保護と資源の有効活用をはかるため、電池の回収にご協力ください。

### 電池のリサイクルについて

- この商品に搭載している電池はリチウムイオンバッテリーです。この電池はリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルにご協力ください。

### リサイクル協力店について

- 充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、一般社団法人「JBRC」のホームページをご参照ください。

<http://www.jbrc.net/hp/>

## 故障かな？と思ったら

こんなときは	ご確認ください	対処方法
電源が入らない	充電されていますか	バッテリーを充電してください。 (P13「充電方法」参照)
電源は入るが、 モーターが働か ない(液晶パネ ルは表示されて バッテリーの残 量も十分である ことが表示され ている)	ブレーキをかけていませんか	発進時はブレーキをかけないでください。 ブレーキレバーがしっかりと戻っている 事を確認してください。
	アシスト0を選択していませんか？	アシストモードを1-3で選択してください。
	バッテリーコードが正しく 接続されていますか？	バッテリーコードをポートにしっかりと連続 してください(P13「充電方法」②-2参照)
バッテリーが満 充電状態ではな いの充電でき ない	バッテリーと充電アダプターが正 しくセットされていますか？	バッテリーから充電連続コネクタを、充 電アダプターから電源コードをいったん抜 いて、もう一度、各コネクタ/コードを連 続し直してください。
	バッテリーが完全放電している	充電が開始してもすぐに満充電表示(緑 色ランプ)が表示される場合は完全放電 の可能性があります。ご購入された販売 店までお問合せください。
	充電されていますか？	バッテリーを充電してください。 (P13「充電方法」参照)
走行距離が短い	バッテリーを長期期間使用せず に放置していませんか？	充電が完了したバッテリーでも長期期間使 用しなかった場合には自然に放電してしま うため、残量がなくなっている事があります。
	坂道の連続走行や悪路などの 過酷な走行をしませんでしたか？	道路状況や変速位置、積載重量やペダル の踏み具合等の条件により走行距離は 短くなります。
	気温は低くないですか？	冬季や寒冷地においてはバッテリーが冷 えているためバッテリーの特性上、容量が 低下したり、走行距離が短くなります。
	気温は高くないですか？	高温で放置した場合は、バッテリーの残量 が減少する事があります。
	使い込んだバッテリーを使用し ていませんか？	バッテリーの寿命と思われます。新しいバ ッテリーをご購入いただき、交換ください。

# 点検・整備項目



**強制**

以下の点検項目を参考にして、定期的な点検を行ってください。  
 自転車本体の点検項目については、同封の「取扱説明書／点検調整チェックリスト」を参照してください。



**注意**

異常を感じた場合は定期点検と関係なく、販売店で点検を受けてください。

点検項目		点検期間						
		1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目
		2ヶ月	6ヶ月	1年	1年半	2年	2年半	3年
1	アシスト機能は正常に作動するか 異音がないか							
2	モーターからグリス漏れがないか							
3	電気配線の接続部にゆみ損傷がないか							
4	コードの断線がないか フレームへの取付は適切か							
5	バッテリーロックキーは作動するか							
6	バッテリーの取付け状態は確実か							
7	表示ランプは点灯するか 異常を表示していないか							
8	バッテリーの消耗が早くなっていないか							

# 一充電当たりの走行距離

走行距離:約30~45km

満充電後、バッテリーの残量がなくなるまでの走行距離の目安です。

走行距離は新品バッテリー、気温25℃、積載重量65kg、乾燥平坦路面、無風状態で走行した場合の当社のデータです。

## 注意

1回の充電でアシスト走行できる距離は道路の状態、走り方、気温、荷物の有無などの走行状況に左右されます。

気温が5度以下になるような野外に電動自転車を駐輪する場合、バッテリーは取り外して室内で保管してください。

**冷えた状態ですと、走行距離が大幅に減少します。**

走行直後のバッテリーは温度が上がっています。

走行直後はアシストユニットに手を触れないでください。

また走行直後の充電は、高温状態からバッテリーを保護するため、充電を途中で終了する仕組みになっています。

冬でも夏でも、可能な限り常温(20℃~25℃)の環境で充電・保管されることをお勧めします。

発進、停止の回数が多い。急な坂道が多い。路面状況が悪い。積載重量が重い。向かい風が強い。バッテリーが劣化している。

主に上記のような条件により走行状態は変化します。

走行中に異音が発生したり異常だと思ったら、ただちに使用を中止してください。

必ず平らな場所に駐輪してください。

高齢者のかたの事故が増えています。

本製品のアシスト特性、重量等を十分に把握したうえでご使用ください。

# スペック

製品名称	16インチ電動アシスト自転車	
製品型式	TBM-Q1	
サイズ	長さ1353x幅595x高さ970 mm	
折畳サイズ	長さ780x幅310x高さ580 mm	
本体材質	アルミニウム	
重量	15 kg	
タイヤサイズ	16*2.125英式バルブ	
走行システム	モード3段階	
ブレーキ	ディスクブレーキ(フロント)、ディスクブレーキ(リア)	
走行距離	約30~45 km	
補助範囲	比例補助	0~10km/h未満
	逡減補助	10~24km/h未満
モーター型式	直流ブラシレスモーター	
モーター定格出力	250W	
バッテリー型式	リチウムイオンバッテリー	
バッテリー定格出力電圧	36V	
バッテリー容量	5.2Ah	
バッテリー寿命	約500回	
充電器型式	スイッチングレギュレータ方式	
充電時間	3~4時間	



# 販売証明書

販売日 年 月 日

販売会社	株式会社 ツバメ・イータイム 山口県岩国市南岩国町3-11-6
購入者	住所 氏名 電話番号

※空白欄はお客様にてご記入をお願いいたします。

## 「販売自転車の仕様」

メーカー	ツバメ・イータイム	車体番号	
車種	TBM-Q1	タイヤサイズ	16インチ
色(カラー)		バッテリー	リチウムイオン 36V/5.2Ah

## 「お客様へ」

この度は当社の自転車をお買い上げ頂き誠にありがとうございました。

車体番号は下部(底部)に刻印しておりますので、ご確認ください。

本証明書は当社の自転車をお買い頂きましたことを証明するものです。

株式会社ツバメ・イータイム  
山口県岩国市南岩国町3-11-6  
info@tsubame-group.co.jp

**I SUPPORT**

公益財団法人

**風に立つライオン基金**

THE LION STANDING AGAINST THE WIND FUND FOUNDATION SINCE 2016



風に立つライオン基金 オリジナルモデル